

沖縄県

定数：4名

立候補者数：4名



氏名 喜瀬 真雄
氏名ふりがな きせ しんゆう
都道府県士会 沖縄県
年齢 43
勤務先名称 琉生病院

日本理学療法協会活動歴

2025年4月より 日本理学療法士協会 沖縄県代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2019年4月より 沖縄県理学療法士協会 南部支部 委員
2024年4月より 沖縄県理学療法士協会 産業保健理学療法委員会 委員

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2025年1月より 日本産業理学療法研究会 国際委員
2025年6月より 日本産業理学療法研究会 評議員

立候補の趣旨

制度は、現場と社会の双方に
分かりやすく説明できる形が
重要だと考えています。
会員が納得し、社会にも伝わる制度を目指します。

総会では、認定理学療法士制度の
受験要件について質問し、
受験機会の公平性を論点として示しました。

また、経済産業省ヘルスケア産業課を訪問し、
産業保健分野における理学療法の価値について
意見交換を行いました。

健康増進・参加領域は、
公衆衛生・健康増進として整理する方が
理解されやすいと感じています。
拙速を避け、制度の土台づくりに取り組みます。



氏名 城間 定治
氏名ふりがな しろまじょうじ
都道府県士会 沖縄県
年齢 51
勤務先名称 沖縄中央療護園

日本理学療法協会活動歴

平成24年～令和7年度 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員（沖縄県選出）

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成17～20年度 社団法人 沖縄県理学療法士会 社会局副局長
平成21年度 社団法人 沖縄県理学療法士会 地区担当局長
平成22年度 社団法人 沖縄県理学療法士会 事務局副局長
平成23年度 社団法人 沖縄県理学療法士会 事務局長兼総務担当理事
平成24年～29年度 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 事務局長兼総務担当理事
平成30年～令和元年度 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 事務局長
平成30年～令和3年度 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 南部支部 副支部長
令和4年～令和6年度 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 糸満支部 支部長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

地域共生社会の実現に向け、理学療法士には医療・介護の枠を超え、地域全体を支える専門職としての役割が求められています。こどもから高齢者、障害のある方まで、あらゆる人の暮らしに寄り添い、その人らしい生活を支えることが理学療法士の使命だと考えています。私は現在、社会福祉法人の統括部長として、障害福祉および介護保険事業の運営・マネジメントに携わっています。これまで、各種協議会委員や審査会委員、市町村事業に関わり、多職種・多機関連携による地域づくりを進めてきました。現在は北中城村において、障害福祉と介護保険を横断した地域共生の取り組みを行っています。今後は、人材確保・人材育成の支援、地域に根差した理学療法士の役割拡大、市町村単位の活動基盤の強化を柱としながら、会員が「参加してよかった」「所属していて安心できる」と実感できる協会づくりに貢献したいと考えています。現場で働く会員一人ひとりの声を丁寧にすくい上げ、日本理学療法士協会へ確実に届ける役割を果たすため、代議員選挙に立候補いたします。



氏名 天願 博敦
氏名ふりがな てんがんひろあつ
都道府県士会 沖縄県
年齢 55
勤務先名称 沖縄県介護保険広域連合

日本理学療法協会活動歴

なし

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成16年～平成22年 沖縄県理学療法士協会にて事務局組織管理部長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

なし

立候補の趣旨

久々の県士会活動に携わりたいという事での立候補であり大変恐縮しております。しかしながら、この機会に地域リハビリテーションの現状を変えていけるような取り組みへと関わりたく立候補した次第です。

代議員の役割は沖縄県の理学療法士の現状の声を拾いあげて中央である日本理学療法士協会へと提言する立場であろうと考えております。そういった役割、働きを担う人材を県内県士会で確認した際に、ほぼ存在しないのではないかと考えました。理事、役員等をみても行政側に勤務している方はほとんどいません。その様な現状を踏まえると、実際地域リハビリテーションとして介護予防の重要性が言われているなか、本来の介護予防の取り組みとして重要になってくるのは、地域にいる住民への啓蒙啓発で、そこに近い専門職は行政職の方々です。その方々との関係性、互いの認知度をみるとあまり分かっていない事が経験的に理解してきました。さらに、この数年行政側で勤務される理学療法士、リハ専門職も増えてきている現状を踏まえるとそこで勤務される理学療法士等の本来の役割を認識させ、地域リハビリテーションの活性化に繋がるのがとても大事ではないかと考えています。

以上の現状を地域リハに携わる代表者にて代議員として、中央へ伝えていく役割が出来れば、より良い「地域でリハビリテーション」ではなく「地域をリハビリテーション」する考えにて地域の活性化等に寄与できるのではないかと考えています。

一先ずは、地域リハの現状を伝える事を大前提としていますが他の課題となる実情も沖縄県理学療法士協会の代弁者としてしっかりと伝えていけるような役割も果たしていきたいとも考えています。



氏名 末吉 恒一郎

氏名ふりがな すえよし こういちろう

都道府県士会 沖縄県

年齢 52

勤務先名称 大浜第二病院

日本理学療法協会活動歴

令和6・7年度 診療報酬改定検討部会 委員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成21年4月～平成26年5月 事務局組織管理部副部長
平成26年5月～平成28年5月 社会職能局理事
平成28年5月～令和2年5月 教育學術局局長
令和2年5月～令和6年5月 副会長
令和6年5月～ 会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私は、沖縄県理学療法士協会会長として、地域の現場で得た声や課題を確実に日本理学療法士協会へ届け、沖縄と全国をつなぐ橋渡し役を果たすために立候補いたしました。2026年度事業計画では、生涯学習や処遇改善、地域に根差した理学療法、公衆衛生領域の強化、そして組織運営の透明性向上が重点として示されています。これらは沖縄の現場が直面する課題とも一致しており、私は地方の声を確実に反映させることで、全国に開かれた協会運営に貢献したいと考えています。また、地域包括ケアや介護予防、スポーツ・健康支援など、地方でこそ重要となる分野で理学療法士の価値をさらに高め、国民の健康に寄与する体制づくりを推進します。「沖縄の声を全国へ、全国の力を沖縄へ」その双方向の架け橋となり、理学療法士がより誇りを持って働ける未来をつくるため、全力で取り組む決意です。